

『コンクリート技士・主任技士 合格テキスト&過去問 2021年版』正誤表

読者の皆様におかれましては、大変なご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。  
下記の通り、訂正させていただきます。

訂正箇所	誤	正
P278 問題9 解答・解説	セメントの単位量は、 $95(\text{L}/\text{m}^3) \div 3.16(\text{g}/\text{cm}^3) = 300(\text{kg}/\text{m}^3)$ となり、水セメント比は、 $180(\text{kg}/\text{m}^3) \div 300(\text{kg}/\text{m}^3) = 60(\%)$ となる。細骨材の単位量は、 $310(\text{L}/\text{m}^3) \div 2.60(\text{g}/\text{cm}^3) = 806(\text{kg}/\text{m}^3)$ となり、コンクリートの単位容積質量は、 $300(\text{kg}/\text{m}^3) + 806(\text{kg}/\text{m}^3) + 988(\text{kg}/\text{m}^3) + 188(\text{kg}/\text{m}^3) = 2,274(\text{kg}/\text{m}^3)$ である。粗骨材の絶対容積は、 $988(\text{kg}/\text{m}^3) \div 2.67(\text{g}/\text{cm}^3) = 370(\text{L}/\text{m}^3)$ となり、細骨材率は、細骨材の体積を全骨材の体積で除した値の比率で、 $310(\text{L}/\text{m}^3) \div (310 + 370)(\text{L}/\text{m}^3) = 45.6(\%)$ となる。コンクリートの単位容積質量は、 $300(\text{kg}/\text{m}^3) + 180(\text{kg}/\text{m}^3) + 806(\text{kg}/\text{m}^3) + 988(\text{kg}/\text{m}^3) = 2,274(\text{kg}/\text{m}^3)$ である。空気量は、 $(1,000(\text{L}) - 95(\text{L}) - 310(\text{L}) - 370(\text{L})) \div 10 = 4.5(\%)$ となる。したがって、(3)が不適當である。	セメントの単位量は、 $95(\text{L}/\text{m}^3) \times 3.16(\text{g}/\text{cm}^3) = 300(\text{kg}/\text{m}^3)$ となり、水セメント比は、 $180(\text{kg}/\text{m}^3) \div 300(\text{kg}/\text{m}^3) = 60(\%)$ となる。細骨材の単位量は、 $310(\text{L}/\text{m}^3) \times 2.60(\text{g}/\text{cm}^3) = 806(\text{kg}/\text{m}^3)$ となり、コンクリートの単位容積質量は、 $300(\text{kg}/\text{m}^3) + 806(\text{kg}/\text{m}^3) + 988(\text{kg}/\text{m}^3) + 188(\text{kg}/\text{m}^3) = 2,274(\text{kg}/\text{m}^3)$ である。粗骨材の絶対容積は、 $988(\text{kg}/\text{m}^3) \div 2.67(\text{g}/\text{cm}^3) = 370(\text{L}/\text{m}^3)$ となり、細骨材率は、細骨材の体積を全骨材の体積で除した値の比率で、 $310(\text{L}/\text{m}^3) \div (310 + 370)(\text{L}/\text{m}^3) = 45.6(\%)$ となる。コンクリートの単位容積質量は、 $300(\text{kg}/\text{m}^3) + 180(\text{kg}/\text{m}^3) + 806(\text{kg}/\text{m}^3) + 988(\text{kg}/\text{m}^3) = 2,274(\text{kg}/\text{m}^3)$ である。空気量は、 $(1,000(\text{L}) - 180(\text{L}) - 95(\text{L}) - 310(\text{L}) - 370(\text{L})) \div 1,000 = 4.5(\%)$ となる。したがって、(3)が不適當である。